



飼犬はすぐ登録し予防注射を受けなすよう (只今實施中です)

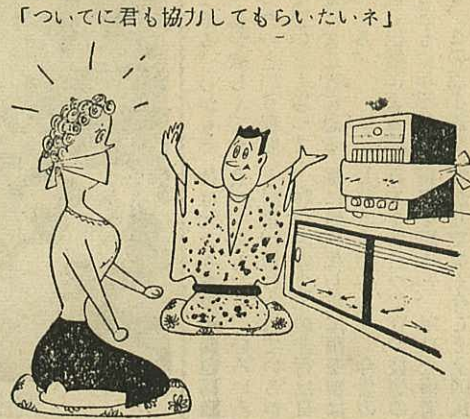
騒音防止に

御協力下さい

こんど市の関係も密接なところから騒音防止の各種機関、団体をはじめ全市民の協力を得て積極的に騒音防止に努め、未然に防ごうというのが本運動の趣旨であります。

まちを静かにする運動

騒音が人体に及ぼす影響は、先づ、睡眠を妨げ、生活リズムを乱すことになり、また、騒音による精神的苦痛、神経痛、頭痛、めまい、耳鳴り、視力障害、聴覚障害、さらには、心臓病、高血圧、喘息、アレルギー性疾患、小児の発育障害、老人の認知症の発症率の上昇など、健康被害は多岐にわたります。



騒音一掃

「ついでに君も協力してもらいたいネ」

ながの懸案

伊万里地方酪農業協同組合成る

伊万里地方酪農業協同組合の第一翼をなす新組織、創立総会はさる二十三日、足をする事になった。午後一時より伊万里小学校現在成牛二百四十四頭、育成で開き、定款、規約、事業、牛百六十六頭、合計三百八十八頭、計画並に役員を決定、永の十頭が、五ヶ年計画懸案であった酪農組合一を以て一千頭飼育が計画され、本化が実現、農業多角経営されている。



尚今年度の事業として、酪農協会の一部を借り受け、市再市販死亡による香典返し乳プラントとして(内式万円は地元機と計画)と、金式万円也、西有田村田中国利政より故父兵次郎(元西松浦郡米穀販売理事)死去による香典返しとして、金式千円也、相生町宇野実業より故妻みね子殿死亡による香典返しとして、伊万里市社会福祉協議会が計画されています。

あくまで国民運動として推進

廿七日伊万里小学校で総会

原水爆禁止伊万里市協議会、会則改正(顧問設置)第一回総会は、さる二十七日午後一時伊万里小学校にて、表高添大川婦人会長、一般開会された。先ず橋口理勲委員長より原水爆の恐怖と全市民の協力を要する旨を述べ、山田太郎氏より意見発表あり、映画「長崎の子」を放映し、原水爆の恐ろしさを一層認識浸透させるため市報、映画、スライド等をもつて市民の啓蒙をはかる。二、被爆者の恒久援護をはかる。

6日から栄養普及運動

日本人特に農民 最良の食品の食生活改善の必「油と大豆をもつとりましよう」は、先月号でもお知らせ致しました。二十五日まで県下一斉に「栄養改善普及運動」が展開されることになり、本年度は「油と大豆をもつとりましよう」を主眼とし、大豆をもつとりましよう、油と大豆をもつとりましようの二つを運動の目標として採り上げることにしました。

木引税は 七月から半減

これまで木材引取税の税率は百分の四であったが、本年は臨時市議会で百分の二に改正され、半減されることになった。尚価格で課税の困難な場合は素材一石につき「しんしょう」の二、三、つねに、市原水協へ寄附

振舞酒は全廢

伊万里供日、恒例のトンテン、喧嘩祭が近まりました。今年度は最高といわれ、市民の方々の御協力を切にお願い致します。尚今年度の出番町は次の通りであります。

山代中学校生徒一同から

山代中学校生徒一同から、市原水協へ寄附。さきに原水爆禁止伊万里市協議会の主催で原爆映画「千羽鶴」が上映されたとき、市内各学校でも教育巡り、市原水協へ寄附した。この映画が広島市に建てられた「原爆の子の像」の設立までの経過を映画化したものであり、尚その動機が中学生の思い付きで創られたものだけに、中学生のうける感銘も一入深いものがあつた。特に山代中学校ではこの映画をみて感動し、何かの足しにと寄附を思い立ち、金一、八〇〇円を市の原水協に届けられた。

写真に総会風景



郵政局より 伊万里町の方にお願い 毎月十五日が商店街の定休日となり、郵便受の備えがなくて配達に困つておられます。早急に郵便受を設置してください。早急にお願致します。

教育委員に 西田氏再選さる

山代町出身、伊万里市教育委員会委員西田良太氏(西田病院長)は、この九月三十日を以て任期満了のとなり、さる九月二十七日開会の臨時市議会に於て再選され、引き続き就任されることになりました。

市原水協へ寄附

山代中学校生徒一同から、市原水協へ寄附。さきに原水爆禁止伊万里市協議会の主催で原爆映画「千羽鶴」が上映されたとき、市内各学校でも教育巡り、市原水協へ寄附した。この映画が広島市に建てられた「原爆の子の像」の設立までの経過を映画化したものであり、尚その動機が中学生の思い付きで創られたものだけに、中学生のうける感銘も一入深いものがあつた。特に山代中学校ではこの映画をみて感動し、何かの足しにと寄附を思い立ち、金一、八〇〇円を市の原水協に届けられた。

社会美談

二里町の吉永ハルさん 病夫に仕え二十八年間の看護

アキス

「アキス」はこんな家に入る 毎年十月頃は行楽シーズと農繁期のためにコソ泥の移り時、「空巣狙い」は行商や集金人を装つて先ずこんな家を狙う。

病夫に仕え二十八年間の看護 病床上に呻吟する夫を看護すること二十八、然も水田一町歩、畑二反歩をかよい女手耕作、日本婦道の本義を遺憾なく発揚した近ごろ珍らしい、感激の社会美談。



一家には暗い影が投げかけられた。然もミツエ、ツギエ、ミサヨの三女の外。尚チヨネさんには長男勝重君が誕生、一躍七人の家族をかかえたハルさんの苦勞は並大底ではなかつた。又快方を期待した病夫は遂に全身不随に悪化、前に机をおいて坐つたまま身動きもできず、身廻り一切他人の手を借らねばならなくなつた。併し性来の好物である酒だけは、一晩も欠かさないうち、孝養振りであった。更に出征中の喜一さんは、十九年一月南方第一線で戦死した。この打撃は聊かもハルさんの信念は弱くもなれず、又チヨネさんも族会より表彰されることになつた。